

県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和7年10月7日発行(第3号)

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実を！ —「調査結果資料」の効果的な活用を通して—

今年度実施された「全国学力・学習状況調査結果」において、県西管内で特に成果が見られた点は以下のとおりです。

国語では、**小学校大問2三の「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する(書くこと)」**、算数・数学では、**中学校大問1の「素数の意味理解(知識・技能)」**が全国の正答率を大幅に上回りました。これは、基礎力アップチャレンジ問題に繰り返し取り組んだり、要約・記述問題の添削を丁寧に行ったりした成果です。引き続き、朝自習や授業等で取り組む時間を設定し、効果的に実践してください。また、理科では**小学校大問3(4)「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に新たな問題を見いだす(思考・判断・表現)」**で全国を上回る高い正答率でした。これは、観察、実験で得られた結果から考察し、新たな問題を見いだす『探究的な学び』を日頃から意識して実践して下さった結果です。「子ども」を主語とした学びへの転換が推進されていることが伺えます。

国立教育政策研究所より、各種調査結果資料がウェブサイトに公開されました。特に、8月20日に掲載された**「学習指導の改善・充実に向けた説明会」**資料を活用し、ぜひ、全職員で研修の視点について共通理解を図り、授業の具現化に向けた積極的な取組をお願いいたします。

国語、算数・数学、理科において、**「指導改善」の視点**を踏まえた「授業アイデア例」が掲載されています。本資料を参考にしながら、課題が見られた領域の補充指導に役立ててください。

(国研資料については、こちらのQRコードから)→



研修の視点

- ☐ 自校の児童生徒は、どこで、どのようにつまづいているのか？ (「解答類型」を活用した分析)
- ☐ これまでの指導における課題は、どのような点にあるのか？ (自身の指導及び授業づくりの分析)
- ☐ 児童生徒の教育指導の充実や学習状況の改善のためには、何をするとよいのか？ (「質問紙調査」を活用した分析)
- ☐ 今後、どのような点に重点を置いて授業改善・充実を図っていくとよいのか？ (自校の「学力向上プラン」の見直し、国研の「授業アイデア例」等の活用)

県西管内の各教科の分析結果につきましては、下記のQRコードから読み取ってください。ぜひ、校内研修等で活用し、授業の改善・充実に役立ててください。※教育情報NWのアカウントでログインしてください。

【国語】



【算数・数学】



【理科】



令和7年度 英語プレゼンテーションフォーラム県西地区大会・県大会開催

8月1日(金)、県西生涯学習センターにおいて県西地区大会が行われました。5回目の開催となる今回のテーマは、「茨城の魅力アッププロジェクト～こんな茨城にしたい、住みたい、なっってほしい～」です。観光資源や環境問題を取り上げたり、防災の面からまちづくりを考えたりするなど、管内23校の代表中学生による様々な視点からの興味深い提案は、多くの参加者の心を惹きつけました。それらのパフォーマンスを通して、他者の意見を聞き、自分の考えや思いを英語で表現することを積み重ねてきた日々の授業の成果を感じました。また、8月26日(火)にエポカルつくば国際会議場で行われた県大会には、下記5校が県西地区の代表として参加し、他地区の生徒と交流しました。中でも、相手意識や目的意識を大切にしたりは大変すばらしいものでした。

【県西大会】

○茨城県県西教育事務所長賞(県大会出場)

結城市立結城東中学校

常総市立石下中学校

桜川市立岩瀬西中学校

境町立境第一中学校

茨城県立古河中等教育学校

【県大会】



○県議会議長賞
桜川市立岩瀬西中学校



○県教育長賞
境町立境第一中学校

専門医（心療内科医）による相談について

「いじめ・体罰解消サポートセンター」では、月に一度、心療内科医による専門医相談を設けています。心療内科とは、心理的なストレスが大きく関わって様々な身体的疾患や症状を引き起こしている場合に、それを治療するための診療科です。身体的な症状が出れば、まずは内科、小児科、婦人科、耳鼻科、眼科などそれぞれの専門診療科で治療を受けますが、それでも症状が改善しないとき、実は心理的なストレス（心の問題）がその原因になっている場合もあります。気になる児童生徒がいましたら、ぜひ一度専門医相談をご利用ください。また、人との関係が上手に結べない、授業中じっと座っていることができず集中して学習に臨めない等、発達に不安がある児童生徒の相談にも対応いたします。今年度は、より多くの方に専門医相談を知っていただき、児童生徒、保護者、学校関係者（校長、養護教諭）、市町サポートセンター職員等、様々な立場の方に来所していただくなど、その利用範囲が拡大しています。相談には事前予約が必要です。ぜひ、電話でお問い合わせください。

相談先：いじめ・体罰解消サポートセンター 0296-22-7830

今後の相談日 10/17(金) 1/16(金)

11/21(金) 2/20(金)

12/19(金) 3/13(金)



(※いずれも15時から18時)

地域とともに育つ学校へ

～コミュニティ・スクールの推進～

コミュニティ・スクール = CS

CS 推進のチェックポイント！

- ✓ 学校と地域が「育てたい子ども像」を共有する
熟議の場を設けているか
→学校と地域が目指す教育の方向性を一致させることで、協働の基盤が強化されます。
- ✓ 学校運営協議会を中心に、**地域の声**を学校運営に反映させているか
→地域住民が学校や子どもたちが抱える課題に対して当事者意識をもつことができるようになります。
- ✓ 教職員の**意識改革**と**負担軽減**を図っているか
→CS の目的や意義を教職員全員が理解するとともに、地域人材の活用や地域との信頼関係を構築することで、教職員の業務負担を軽減させます。



こんな CS の**お悩み**は、各市町教育委員会配置の**社会教育主事**にお気軽にご相談ください！

全職員や地域の方々に CS の理解を深めるために**研修**がしたいんだけど…



どうすれば学校運営協議会が**活性化**するのかしら？



学校運営協議会の**準備**をする余裕がなくて困ったなあ…



本校の実態にあった参考になる**実践事例**を知りたいんだけどなあ…



人事課

危機管理のために（クライシス・マネジメントの視点）

「令和7年度管理職（夏季）研修会」では、学校事故が起きた後、問題が複雑にならないように回避し、対応していくための「クライシス・マネジメント」の視点から、模擬保護者会のロールプレイングを取り入れました。

学校事故が発生しないように…と未然防止に努めていますが、現実には様々なことが起こります。まずは、児童生徒を、先生方を、学校を守るために、と考えなければなりません。「迅速に」「正確に」情報を把握し、保護者や地域への理解と協力を求め、問題解決へ向かう関係性を保つことが重要です。そして、学校事故という学校の危機を乗り越え、よりよい学校づくりに向けて「真摯に」対応できる組織であることも大切です。各学校でも、未然防止の視点と危機を乗り越える視点で学校事故への研修を深めていただくようお願いいたします。

学校事故対応のイメージ



図：危機管理の概念（鳴門教育大学大学院教授 坂根健二）

【令和7年度管理職（夏季）研修会の説明スライド】